

県立柏原高等学校 部長

中学から約6年間、ずっと吹奏楽をしてきました。コンクールは勿論、定期演奏会や様々なイベントに呼んでくださり、演奏出来ること、それが凄く楽しくて仕方ありませんでした。“金賞受賞”、“愛と感謝の気持ちを音で伝える”、この2つを目標とし、同じ方向に向かって進みました。

定期演奏会まであと数週間。そんな時、新型コロナウイルスの流行により定期演奏会の中止、更にコンクール等の演奏会も中止が決まりました。今まで当たり前だと思っていた事や日常が一変し、凄く悔しく、悲しかったです。休校中も「みんなに会いたい、合奏をしたい。」その思いが募る一方でした。

今、有難いことに沢山の新人部員を迎え、部活の制限も少しずつ緩和され、活動が少しずつ出来るようになってきました。みんなの元気な姿を見られるのが嬉しいし、そんな日常がどれだけ幸せか、身に染みて感じています。改めて、吹奏楽がとても大好きだと心から思えました。私達の目標でもある、日々の愛と感謝、そしてパワーをしっかりと音に乗せ、引退まで精一杯頑張りたいと思います。

県立篠山鳳鳴高等学校 3年 バスクラリネット

私達は、学校が設けてくれた発表会の日を引退の日と決め、日々練習に取り組んでいます。学習面との折り合いもあり、例年より少し早い引退となってしまいましたが、私達の目標としている“みんなが楽しめる演奏”が発表会でできるように残りの期間を大切に練習しています。練習をする曲はたくさんあり、大変な部分もありますが、1曲1曲を丁寧に正確に練習しています。曲中で自分のできていない所や苦手なところを改善し、本番で最高の演奏ができるように頑張ります。

そして、演奏を聞きに来てくださる方も演奏している自分たちも楽しいと思えるようにし、本番が終わった後みんなであって笑って良い本番だった！と言い合えるように最後まで顧問の先生、部員のみんなと練習を頑張っていきます。

三田市立長坂中学校 部長 3年 サクソフォン

コンクールの中止決定。このメンバーで感動を与える演奏をしたいと願う中での中止は、言葉にならない悔しさがありました。休校中の部員とのやりとりの中で、「今までの努力が報われる演奏がしたい」「はやくみんなと音楽を創りたい」と言ってくれる仲間がいました。部員たちが不安を抱えていると思い、部長としてみんなを励ますつもりでしたが、仲間たちの力強い言葉に、逆に私が励まされ、救われました。自分の思いに共感してくれる人がいることがとても嬉しかったです。そして、自分ではどうすることもできない困難が訪れた時、「どうなるの?」と不安を抱くだけでなく、自分が「どうするか」を考えて行動することが一番大切だと気づきました。部活ができない期間があったことで、それぞれ感じたことや成長があると思います。その経験を演奏に活かし、今まで以上の感動を生み出せると信じています。

三田市立八景中学校 部長・副部長

私たちは毎年、コンクールや様々なイベントに向けて日々練習を重ねていました。しかし、このような状況になるとは思ってもいなかったので、部員もみんな複雑な思いややるせない気持ちを抱えて過ごしています。

私自身も何を目標として活動しているのかわからなくなることもあり、勉強も両立しなければならないのに続ける意味はあるのかと、迷うこともありました。でもそんなとき、頭に浮かぶのは今までの部活動の様子や部員のことばかりで…自分がここで折れてはいけないと思うようになりました。

八景中学校吹奏楽部は、『感謝の気持ちを忘れない 信頼し合える仲間とともに 響け八景ハーモニー』の言葉を胸に、今できることを全力で取り組みます。活動の場は少なくなってしまうても八景ハーモニーをこれからも広く、どこまでも響かせようという思いをのせて、日々練習に励んでいきます！